

被害状況即報・確定報告

市町村		五所川原市		区分		被害	
災害名 報告番号		災害名 第 報 ( 年 月 日 時現在)		田	流失・埋没	h a	
					冠水	h a	
報告者名	区分	被害	畑		流失・埋没	h a	
					冠水	h a	
文教施設			箇所				
病院			箇所				
人的被害	死者	人		道路	箇所		
	行方不明者	人		橋りょう	箇所		
	負傷者	重傷	人	河川	箇所		
		軽傷	人		港湾	箇所	
住家被害	全壊	棟		そ の 他	砂防	箇所	
		世帯			清掃施設	箇所	
		人			崖くずれ	箇所	
	半壊	棟			鉄道不通	箇所	
		世帯			被害船舶	隻	
		人			水道	戸	
	一部破損	棟			電話	回線	
		世帯			電気	戸	
		人			ガス	戸	
	床上浸水	棟			ブロック塀等	箇所	
		世帯					
		人					
	床下浸水	棟			り災世帯数	世帯	
		世帯			り災者数	人	
		人			火災発生	建物	件
	非住家	公共建物	棟			危険物	件
その他		棟		その他	件		

総務課→県防災危機管理課

区分		被害		市町村災害対策本部	名称		
公立文教施設	千円					設置	( 年 月 日 時)
農林水産業施設	千円				解散	( 年 月 日 時)	
公共土木施設	千円						
その他の公共施設	千円						
小計	千円						
その他	農業被害	千円		災害救助法の適用有無	有	無	
	林業被害	千円					
	畜産被害	千円		適用年月日	年 月 日 時		
	水産被害	千円					
	商工被害	千円					
	その他	千円		消防職員出動延人数	人		
総額	千円		消防団員出動延人数	人			
備考	災害発生場所 災害発生日 災害の種類、概要 応急対策の状況 ・ 消防、水防、救急、救助等消防機関の活動状況 ・ 避難の勧告・指示の状況 ・ 避難所の設置状況 ・ 他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・ 自衛隊の派遣要請・出動状況 ・ ボランティアセンター設置状況（設置の有無及び設置場所等） ・ ボランティアの活動状況（受入の有無、派遣の有無等） ・ その他関連事項						
	総務課→県防災危機管理課						

※被害額は省略することができるものとする。





年 月 日の(災害名)に係る被害状況( 年 月 日 時 分 現在)

市町村名	発生年月日	住家・非住家	程度	発生場所	被災状況
(記入例:被害状況報告の詳細を記載するもので、報告する件数と整合を図ること)					
※非住家の一部破損については、被害状況報告には記載する必要はないが、可能な範囲で記載すること。					

様式 4

避難状況・救護所開設状況

(第 報)

報告の時限		月 日 時 分現在		受信時刻		月 日 時 分	
発信機関				受信機関			
発信者名				受信者名			
内容							
避難状況	避難先	地区名	避難の勧告、指示の種類及び日時	世帯数	人数	屋内／屋外	今後の見通し
			(勧告、指示、自主) 日 時 分				
			(勧告、指示、自主) 日 時 分				
			(勧告、指示、自主) 日 時 分				
			(勧告、指示、自主) 日 時 分				
			(勧告、指示、自主) 日 時 分				
救護所開設状況	救護所名	設置場所	受入人数		実施機関		
			重傷	軽傷			

総務課→県防災危機管理課



救助の実施状況

区分			避難所		応急仮設住宅		炊き出し	飲料水		被服・寝具等			医療及び助産			救出		応急処理	学用品	埋葬	遺体の 搜索 処理	障害物の 除去					
月日時分発 (受)	発(受) 信者氏名	日時 月時現 日分在	箇所数 (箇所)	受入実人員 (人)	設置戸数 (戸)	完成戸数 (戸)	給食実人員 (人)	対象人員 (人)	給水車 (台数)	世帯数 (世帯)	被服 (点)	寝具 (点)	その他 (点)	医療班		医療機関		分 べ ん 者 数 (人)	救 出 人 員 (人)	行 方 不 明 (人)	対 象 数 (世 帯)	小 学 生 (人)	中 学 生 (人)	埋 葬 数 (体)	処 理 数 (体)	対 象 世 帯 数 (世 帯)	
														(班)	(人)	(機関)	(人)										

健康推進課→西北地域県民局地域健康福祉部→県健康福祉政策課

救助実施記録日計票				
救助 の 種 類	避	炊	水	救出
	修理	学	遺捜	遺処
	障			
責任者				
地区代表者				
年      月      日      時      分現在				
NO. _____				
<p>員数（世帯）</p> <p>品目（数量金額）</p> <p>受入先</p> <p>支出先</p> <p>場所</p> <p>方法</p> <p>記事</p>				

※救助の種類：避難所・炊出し・給水・救出・修理・学用品・遺体捜索・遺体処理・障害物除去

様式 8

救助の種目別物資受払状況

年 月 日 時 分現在

救助の種目別	年 月 日	品名	単位	摘要	受入	支出	残高	備考
炊出しその他による食品給与用								
給水用機械器具燃料 浄水用薬品、資材								
被服寝具等								
医薬品衛生材料								
被災者救出用機械器具燃料								
燃料及び消耗品								
避難所用								

- (注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先、支出先を記入。  
 2 「備考」欄に、購入単価、金額を記入。  
 3 救護班による場合は、班ごとに作成。

様式9

被害者実態調査（個票）									
					調査年月日： 年 月 日				
					調査員：				
町内名									
世帯主名		住所			年齢	職業	電話		
被害状況				家族の氏名	続柄	年齢	職業		
人的被害	死者	行方不明	重傷	軽傷					
	人	人	人	人					
住家等被害	住家		非住家		その他				
	1 全壊（焼）		1 全壊（焼）		物件 程度				
	2 半壊（焼）		2 半壊（焼）						
	3 流失		3 流失						
	4 一部破損		4 一部破損						
	5 床上浸水 1～49cm		5 床上浸水 1～49cm						
	50～99cm		50～99cm						
	100cm以上		100cm以上						
	6 床下浸水 (被害区分に○)		6 床下浸水		※課税の状況	1 非課税		参考となる事項	
	棟		棟			2 均等割			
自家・借家・間借		自家・借家・間借		3 所得割					
				数量					



様式 1 1 (火災)

第 報

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名 \_\_\_\_\_

※ 爆発を除く

火災種別	1. 建物 2. 林野 3. 車両 4. 船舶 5. 航空機 6. その他					
出火場所						
出火日時	月 日 時 分	(鎮圧日時)		月 日 時 分		
(覚知日時)	月 日 時 分	鎮火日時		月 日 時 分		
火元の業態・用途				事業者名 (代表者名)		
出火箇所				出火原因		
死傷者	死者 (性別・年齢)	人		死傷者の生じた理由		
	負傷者	重傷	人		中等傷	人
焼損程度	焼損棟数	全半部分	焼焼ぼ	棟棟棟	計 棟	棟
り災世帯数				気象情報		
消防活動状況	消防本部 (署)	消防団	その他	台	台	台
救急・救助活動状況						
災害対策本部等の設置状況						
その他参考事項						

(注) 第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)



様式 13 (救急・救助事故)

報告日時	年 月 日 時
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名 \_\_\_\_\_

発生場所			
発生日時 (覚知日時)	月 日 時 分 月 日 時 分	覚知方法	
事故の概要			
死傷者	死者 (性別・年齢)	負傷者等	人 ( 人)
	計 人	重傷	人 ( 人)
	不明 人	中等傷	人 ( 人)
		軽傷	人 ( 人)
救助活動の要否			
要救助者数 (見込)		救助人数	
救急・救助活動状況			
災害対策本部等の 設置状況			
その他参考事項			

(注) 負傷者等の ( ) 書きは、救急隊による搬送人員を内書きで記入すること。

(注) 第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

様式 1 4

医療施設被害

月 日 時 分

被害施設名	被害の程度							被害金額 (千円)
	全壊 m <sup>2</sup>	半壊 m <sup>2</sup>	全焼 m <sup>2</sup>	半焼 m <sup>2</sup>	流失 m <sup>2</sup>	浸水 m <sup>2</sup>	その他 m <sup>2</sup>	
計								

環境衛生施設被害

月 日 時現在  
(金額単位:千円)

施設名 / 区分	被害内容	被害額
計		

(注) 被害内容には上水道、簡易水道、廃棄物処理施設ごとに、かつ、その被害程度を記入する。



様式17

水稻被害（干害、霜害、風害等）

月 日 時現在

地区名	作付面積 ha	被害面積		被害 減収量 t	単価 円	被害額 千円	被害程度別面積内訳				減収量				被害農 家戸数	被害率 30% 以上の 農家
		計 ha	うち被 害率 30% 以上				30% 未満 ha	30～ 49% ha	50～ 69% ha	70% 以上 t	30% 未満 t	30～ 49% t	50～ 69% t	70%以 上 t		
◎	△	○		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		

(注) 第1報（直ちに報告）は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告すること。

りんご被害

①風害

月 日 時現在

地区名	樹種名	栽培面積	災害の種類	種目	被害程度別面積					被害量			被害金額 千円	備考
					計 ha・本	30%未 満 ha・ 本	30~ 49% ha・ 本	50~ 69% ha・ 本	70% 以上 ha・ 本	落果 t		樹上損傷		
										減収	品質低 下			
◎		△	◎	◎	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	1の①は樹冠浸水をいう。従って被害面積欄のみに記入。 1の②は樹冠の浸水割合によって程度別を記入の区分により記入する。
合計														
被害戸数						戸	戸	戸	戸					

- 1 減収量：各被害種目毎の被害程度別面積  
× (減収量×10a当たりの生産量)
- 2 品質低下量：各被害種目毎の被害程度別面積  
× (1低下率×10a当たり生産量)
- 3 減収額：減収量×1t当たり単価
- 4 品質低下額：品質低下量：1t当たり損害単価
- 5 樹体損傷額：樹体損傷本数×被害損傷率  
×1樹当たり樹体損害額  
(果樹共済算定方式)
- 6 第1報(直ちに報告)は、◎印のみ報告する。  
第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。  
確定報告はすべての欄に記入し報告する。

りんご被害

②風害以外

月 日 時現在

地区名	樹種名	栽培面積	災害の種類	種目	被害程度別面積					被害量 t		被害金額 千円	備考
					計 ha・本	30%未 満 ha・本	30~ 49% ha・本	50~ 69% ha・本	70% 以上 ha・本	減収	品質低下		
◎		△	水害 凍霜害 雪害 雹害	園地浸水 樹冠浸水 花そう被害 果実被害 樹体損傷 わい性台 普通台	◎	△	△	△	△	△	△	△	1の①は樹冠浸水をいう。従って被害面積欄のみに記入。 1の②は樹冠の浸水割合によって程度別を記入の区分により記入する。
合計													
被害戸数						戸	戸	戸	戸				

- 1 減収量：各被害種目毎の被害程度別面積  
× (減収量×10a当たりの生産量)
- 2 品質低下量各被害種目毎の被害程度別面積  
× (1低下率×10a当たり生産量)
- 3 減収額：減収量×1t当たり単価
- 4 品質低下額：品質低下量：1t当たり損害単価
- 5 樹体損傷額：樹体損傷本数×被害損傷率  
×1樹当たり樹体損害額  
(果樹共済算定方式)
- 6 第1報(直ちに報告)は、◎印のみ報告する。  
第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。  
確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 19

畑作・野菜・一般果樹園・桑樹被害

月 日 時現在

地区名	品目名	作型	被害程度別面積 (h a)					被害減収量 (t)					単価	被害額 (千円)	備考	
			計	30%未満	30~49%	50~69%	70%以上	計	30%未満	30~49%	50~69%	70%以上				
◎	◎	△	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
合計																

- (注) 1 桑の被害額は、繭に換算して算出する。被害額は、被害面積×被害率×10a当たりの収繭量による。  
 作型の欄には、栽培暦等を参考のうえ、春まき栽培、夏まき栽培及び露地、マルチ等の区分を記入する。  
 備考欄には、被害の態様及び別に定めるもの以外については、被害減収量算定根拠を記入する。
- 2 第1報(直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。  
 確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

畜産関係被害（家畜・畜産物等）

月 日 時現在

区分 市町村名										備 考
	被害数量	単価	被害額	被害数量	単価	被害額	被害数量	単価	被害額	
	(頭羽数等)	(円)	(円)	(頭羽数等)	(円)	(円)	(頭羽数等)	(円)	(円)	
◎	( ) ◎	△	△	( ) ◎	△	△	( ) ◎	△	△	
合計										

- (注) 1 区分欄には乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー、馬、めん羊、配合飼料、牧乾草、購入粗飼料、牛乳、卵等を記入。被害数量欄の（ ）内には箇所数を記入し、備考欄には被害態様等を記入。
- 2 第1報（直ちに報告）は◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

畜産関係被害（牧草・飼料作物等）

月 日 時現在

市町村	作物名	被害の態様		被害程度別面積（h a）					被害減収量（t）					単価（円）	被害額（円）	備考
				計	30%未満	30%～49%	50%～69%	70%～89%	90%以上	計	30%未満	30%～49%	50%～69%			
◎	◎	内	◎	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
	合計															

(注) 1. 被害態様の欄には、枯死、牧草腐敗、埋没、決壊、倒状、冠水、流失等の被害の態様を記入し、この態様別に被害面積、被害減収量を記入する。

2. 備考欄に箇所数等を記入する。

3. 牧草については、生育時期により生産量が異なるため、年間生産量に対する生育時期別割合は、次の数値を参考とされたい。  
牧草の年間収量に占める生育時期割合

1 番草 50% 2 番草 30% 3 番草 20%

4. 第1報（直ちに報告）は、◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。  
確定報告は、すべての欄に記入し報告する。

農林水産課→西北地域県民局地域農林水産部→県畜産課

様式 2 2

農業関係共同利用施設被害（農業協同組合及び農業協同組合連合会所有のもの）

年 月 日  
 報告者名

（金額単位：千円）

種類名	被害施設名	全壊		大破		中破		小破		計		備考
		件数等	被害額									
◎	( )											
	( )											
	( )											
	計									◎	△	
◎	( )											
	( )											
	( )											
	計									◎	△	
合計												

- (注) 1. 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「自然牧野」「一般施設」等の別を記入する。  
 2. 被害施設名欄の下段( )内には所有者名を記入する。  
 3. 件数等には件数・棟数・台数等を記入する。  
 4. 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については「農業関係被害の算定基準等について」を参照。  
 5. 備考欄には被害の態様及び被害面積等を記入する。  
 6. 第1報(直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は把握でき次第△印を含めて報告すること。  
 確定報告は、すべての欄に記入し報告すること。

様式23

農業関係共同利用施設被害（様式25以外のもの（各種集団所有等））

年 月 日  
 報告者名

（金額単位：千円）

種類名	被害施設名	全壊		大破		中破		小破		計		備考
		件数等	被害額									
◎	( )											
	( )											
	( )											
	計									◎	△	
◎	( )											
	( )											
	( )											
	計									◎	△	
合計												

- (注) 1. 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「自然牧野」「一般施設」等の別を記入する。  
 2. 被害施設名欄の下段( )内には所有者名を記入する。  
 3. 件数等には件数・棟数・台数等を記入する。  
 4. 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については「農業関係被害の算定基準等について」を参照。  
 5. 備考欄には被害の態様及び被害面積等を記入する。  
 6. 第1報(直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は把握でき次第△印を含めて報告すること。  
 確定報告は、すべての欄に記入し報告すること。

様式24

農業関係非共同利用施設被害

年 月 日  
 報告者名

(地方公共団体施設被害についても本様式をもってすること。)

(金額単位：千円)

種類名	被害施設名	全壊		大破		中破		小破		計		備考
		件数等	被害額									
◎	( )											
	( )											
	( )											
	計									◎	△	
◎	( )											
	( )											
	( )											
	計									◎	△	
合計												

- (注) 1. 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「自然牧野」「一般施設」等の別を記入する。  
 2. 被害施設名欄の下段( )内には所有者名を記入する。  
 3. 件数等には件数・棟数・台数等を記入する。  
 4. 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については「農業関係被害の算定基準等について」を参照。  
 5. 備考欄には被害の態様及び被害面積等を記入する。  
 6. 第1報(直ちに報告)は、◎印のみ報告する。第2報以降は把握でき次第△印を含めて報告すること。  
 確定報告は、すべての欄に記入し報告すること。

様式 25

農業協同組合及び農業協同組合連合会の在庫品被害

年 月 日 時現在  
(金額単位：千円)

	種類	数量	単位	単価	被害額	備考
生産資材	( )					
	( )					
	( )					
	( )					
	計	◎			△	
その他	( )					
	( )					
	( )					
	( )					
	計	◎			△	
合計						

- (注)
- 1 在庫品とは、農業協同組合及び農業協同組合連合会の所有又は管理するものをいう。
  - 2 「種類」欄 ( ) 内には農協等の名称を記入する。
  - 3 備考欄には被害の態様等を記入する。
  - 4 第1報(直ちに報告)は災害発生後直ちに報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

農地・農業用施設関係被害

月 日 時現在  
(単位：千円)

地区名	被害報告額	左の内訳																			備考
		農地			農業用施設																
				頭首工		水路		溜池		揚水機		橋梁		道路		農地保全		施設小計			
		箇所	面積	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	
			(ha)																		
計																					

林業関係被害（林産関係）【概況・確定報告】

年 月 日 時現在  
(金額単位：千円)

災害名

区分 地区名	林産施設等						林産物等								計	
	林産施設		畑苗施設		小計		林産物		種苗		林産物間接被害		小計		数量	被害額
	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額		
五所川原市																
合計																

- (注)
- 1 「数量」欄には、被害の箇所数、面積等を記入する。
  - 2 「林産施設」被害とは、木材倉庫、貯木場、木材加工施設、木炭加工施設、わさび・しいたけ等育成・加工施設等の全壊・半壊等をいう。
  - 3 「畑苗施設」被害とは、畑地流出、畑地埋没、灌水施設破損、堆肥舎倒壊等をいう。
  - 4 「林産物」被害とは、立木、素材、製材等の木材被害、薪炭原木・木炭等の薪炭被害、わさび・しいたけ等の特用林産物被害と利用伐期令級未満の造林地被害の合計をいう。
  - 5 「種苗」被害欄には、樹種・面積・本数（千本、年生）を記入する。
  - 6 「林産物間接被害」とは、道路の決壊、橋梁の破損、その他により運搬が不能となった林産物等（木材・薪炭・特用林産物）をいう。

林業関係被害（治山関係）【速報・概況・確定報告】

年 月 日 時現在  
（金額単位：千円）

災害名

区分 地区名	林地				施設等								林野火災			備考		
	崩壊地		地すべり		海岸		治山		地すべり		小計		林道		件数		面積	被害額
	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額				
五所川原市																		
		箇所 ha		箇所 ha		箇所 ha		箇所 ha		箇所 ha		箇所 ha		箇所 m		件	ha	

水産業関係被害

年 月 日  
(金額単位：千円)

区分 地区	水産業関係施設被害																			
	共同利用施設			非共同利用施設			地方公共団体施設			漁船										
	施設名	数量	被害額	施設名	数量	被害額	施設名	数量	被害額	規模	滅失		大破		中破		小破		計	
											隻数	被害額								
									無動力											
									動力	5 トン 未 満										
									5 トン 以 上											
計																				

水産業関係被害

水産業関係施設被害									(A) 施設等 被害額計	(B) 水産物被害			(C) 組合在庫品被害			(D) = (B) + (C) 水産物等 被害額計	(A) + (D) 水産業関 係 被害額計
漁具・資材			養殖施設			地方公共団体施設				種類	数量	被害額	種類	数量	被害額		
種類	数量	被害額	種類	数量	被害額	種類	数量	被害額									
計																	

様式 30

商工業・観光施設関係被害

月 日 時現在  
(金額単位:千円)

区分 施設名	被害内容	被害額
合計		

(注) 被害内容には、鉱山、商店、事業所ごとにかつその被害程度を記入すること。



文教関係被害

月 日 時現在  
(金額単位:千円)

区分 地区名	児童・生徒（教職員・事務職員）被害					教科書被害	学校施設										社会教育施設						被害合計金額				
	死亡	行方不明	重傷	軽傷	計		保育園		小学校		中学校		高校		大学		各種学校		社会教育施設		社会体育施設			文化財			
							園数	金額	校数	金額	校数	金額	校数	金額	校数	金額	校数	金額	校数	金額	校数	金額		校数	金額	校数	金額
合計																											

※ 保育園には幼稚園も含む



様式 3 4

その他の公共施設被害

月 日 時現在  
(金額単位：千円)

区分 施設名	被害内容	被害額
計		

避難勧告、指示発令報告書

第 年 月 号  
日

青森県知事

様

五所川原市長

災害対策基本法第60条の規定に基づき、次のとおり避難勧告（指示）の発令をしたので報告する。

- 1 災害等の規模及び状況
- 2 避難を勧告又は指示した日時
- 3 勧告又は指示した地域
- 4 対象世帯数及び人員
- 5 避難所開設予定箇所数
- 6 その他

避難勧告、指示解除報告書

第 年 月 号  
日

青森県知事

様

五所川原市長

災害対策基本法第60条の規定に基づき、発令した避難勧告（指示）  
を次のとおり解除したので報告する。

- 1 避難勧告（指示）を解除した日時

避難所開設報告書

第 年 月 号  
 年 月 日

青森県知事

様

五所川原市長

災害に伴う避難所を次のとおり開設したので報告する。

避難所を開設した日時	
場所及び箇所数	
受入世帯数及び人員	
開設期間	
その他	

避難所閉鎖報告書

第 年 月 号  
 年 月 日

青森県知事 様

五所川原市長

災害に伴う避難所を次のとおり閉鎖したので報告する。

避難所を閉鎖した日時	
場所及び箇所数	
受入世帯数及び人員	
開設期間	
その他	







被災者救出状況記録簿

五所川原市

年月日	救出人員	救出用機械器具							実支出額	備考	
		名称	借上費			修繕費					燃料費 (円)
			数量	所有者名	金額 (円)	修繕 月日	修繕費 (円)	修繕の概要			

- (注)
- 1 他市町村に及んだ場合には、備考欄に市町村名を記入すること。
  - 2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみその借上費を「金額」欄に記入すること。
  - 3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な故障箇所を記入すること。

救助の種目別物資受払状況

五所川原市

救助の種目別	年月日	品目	単位	摘要	受	払	残	備考
避難所用								
炊き出しその他による 食品給与用								
給水用機械器具 燃料浄水用薬品資材								
被服寝具等								
医薬品衛生材料								
被災者救出用 機械器具燃料								
燃料及び消耗品								

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。  
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入すること。  
 3 各救助の種目別最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、県よりの受入分及び市調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及び金額を明らかにしておくこと。  
 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。  
 なお、「備考」欄には、払高数量（使用数量）に対する金額も記入すること。









青森県知事

殿

五所川原市長

災害救助法による応急仮設住宅設置供与（住宅応急修理）申請書

年 月 日の災害（水害）により全壊（全焼）（流失）（半壊）（半焼）した被災者のうち別紙の者は、自らの資力では住宅を得ることができない者（自らの資力では住宅の応急修理をすることができない者）でありますから関係書類を添えて申請します。

（注）関係書類は別紙様式（調書）によること。





第 年 月 号 日

青森県知事

様

五所川原市長

災害救助法による応急仮設住宅建築工事着工届

- 1 工事名 災害救助法による応急仮設住宅建築工事
- 2 建築戸数 棟 戸 棟 戸 } 計 棟 戸
- 棟 戸 棟 戸
- 3 着工年月日

上記のとおり着工したので届け出します。

- (注) 1 着工後 5 日以内に届出すること。  
2 住宅の応急修理も上記に準じて届出すること。

第 年 月 号  
日

青森県知事

様

五所川原市長

災害救助法による応急仮設住宅建築工事竣工届

- 1 工事名 災害救助法による応急仮設住宅建築工事
- 2 建築戸数 棟 戸 棟 戸 } 計 棟 戸  
棟 戸 棟 戸
- 3 工事場所
- 4 竣工年月日
- 5 工事届

上記のとおり竣工したので届け出します。

- (注) 1 竣工後 5 日以内に届出すること。  
2 住宅の応急修理も上記に準じて届出すること。

第 年 月 号  
日

青森県知事

様

五所川原市長

災害救助法による応急仮設住宅建築工事引渡書

- 1 工事名 災害救助法による応急仮設住宅建築工事
- 2 設置場所及び戸数
- 3 構造及び面積
- 4 竣工年月日
- 5 引渡年月日

上記のとおり引き渡しするものです。

第 年 月 日  
号

青森県知事

様

五所川原市長

応急仮設住宅設置（住宅の応急修理）概算金交付請求書

¥  
\_\_\_\_\_

ただし、応急仮設住宅設置（住宅の応急修理）の概算金として上記のとおり請求します。

（注） 上記請求書は、応急仮設住宅設置及び住宅の応急修理のため概算交付を必要とする場合に用いるものであること。

応急仮設住宅台帳

五所川原市

応急仮設住宅番号	世帯主氏名	家族数 (人)	所在地	構造区分	面積 (㎡)	敷地区分	着工月日	竣工月日	入居月日	実支出額 (円)	備考
							月 日	月 日	月 日		
計	世帯										

- (注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。  
 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。  
 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの地番を記入すること。  
 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別について記入すること。  
 5 「敷地区分」欄は、公私の別を記入し、有無償の別をも明らかにすること。  
 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

住宅応急修理記録簿

五所川原市

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	備考
			円	
計	世帯			

青森県知事

様

五所川原市長

災害派遣に関する申し出について（派遣要請）

標記の件に関し、下記により部隊の派遣方を申し出ます。

1. 災害の種類	洪水 津波 地震 火災 その他	
2. 要請の目的	人命救助 災害復旧 消火 その他	
3. 派遣を希望する区域	地区	
4. 派遣を必要とする期間	年 月 日から 年 月 日まで	
5. 被害状況		
6. 派遣を希望する人員及 機器の概数（車両、船舶等）		
7. 派遣先の責任者		
8 その他	(1) 宿泊	要請側で準備 自衛隊側で準備
	(2) 食料	要請側で準備 自衛隊側で準備
	(3) 資材	要請側で準備 自衛隊側で準備

様式 58

第 号  
年 月 日

青森県知事

様

五所川原市長

災害派遣に関する申し出について（撤退要請）

標記の件に関し、所期の目的を達成しましたので、下記の部隊の撤退方を申し出ます。

記

派遣部隊の撤収日時 年 月 日 時 分

派遣部隊の名称

救護班活動状況

救護班  
 班長：医師 氏名

年 月 日	場 所	患者数	措置の概要	遺体検案数	修繕費	備考
		人		人	円	
計						

(注) 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入する。

様式 60

診療所・医院医療実施状況

五所川原市

医療機関名	患者名 (住所)	診療期間	傷病名	診療区分	診療報酬		金額	備考
				入院、通院の別	入院	通院		
					点	点	円	
計 機関	人							





障害物除去の状況

五所川原市

住家被害程度区分	氏名	除去に 要した期間	実支出額	除去を要する 状態の概要	備考
			円		
計	半壊（焼）	世帯			
	床上浸水	世帯			



遺体の搜索状況記録簿

年 月 日	搜索人員(人)	搜索用機械器具							実支出額(円)	備考
		名称	借用費		修繕費			燃料費(円)		
			数量	所有者(管理者)氏名	金額(円)	修繕月日	修繕費(円)			
計										

- (注) 1 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。  
 2 借上費については有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ借上費は「金額」欄に記入すること。  
 3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な故障箇所を記入すること。

遺体搜索の協力要請書

第 年 月 号  
日

様

五所川原市長

遺体搜索の協力方について（要請）

災害により、次の者が貴市（町村）へ漂着していると推定されるので、その搜索について協力を要請致します。

遺体が漂着していると推定される地域						
死者の氏名等	氏名		性別	男 女	年齢	才
	着衣・持ち物等					
	死者の特徴					
その他参考となる事項						
当市への連絡先						

遺体処理台帳

五所川原市

処理年月日	遺体発見の日時及び場所	死亡者	遺族		洗浄等の処理			遺体の一時保管料	検案料	実支出額	備考
		氏名	氏名	死亡者との関係	品名	数量	金額				
							円	円	円	円	
計		人									

埋火葬台帳

五所川原市

死亡 年月日	埋火葬 年月日	死亡者		埋火葬を行った者		埋火葬費				備考
		氏名	年齢	死亡者 との関係	氏名	棺 (付属品 含む。)	埋葬 又は 火葬料	骨箱	計	
計		人								

(注) 1 埋火葬を行った者が市長である場合は、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。  
 2 市長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。



学用品購入計画書

学校名											
			区分			全壊（焼）、流失			半壊（焼）床上浸水		
学年	品目	単価	児童生徒	数量	金額	児童生徒	数量	金額	数量	金額	

学用品の給与状況

五所川原市

学校名 学年	児童 (生徒) 氏名	親権者 氏名	給与 月日	給与品の内訳						実支出 額 (円)	備考
				教科書			その他学用品				
				国語	算数	その他	鉛筆	ノート	その他		
計	小学校										
	中学校										

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者 (学校長)  
氏 名

印

- (注) 1 給与月日は、その児童 (生徒) に対して最後に給与した月日を記入すること。  
2 「給与品の内訳」欄には数量を記入すること。



人夫あっせん要請書

第 年 月 号  
日

公共職業安定所長 様

五所川原市長

災害の救助活動従事者について次によりあっせん方を要請する  
ものです。

要請の理由	
従事場所	
作業内容	
所要人員	
従事期間	
集合場所	

様式 7 4

人夫雇上台帳

救助種目名

住所	氏名	年齢	日額	月分				基本賃金		割増賃金		計	備考
								日数	金額	時間	金額		
計	人												

(注) 1 本台帳は、救助種目ごとに作成する。

2 各日別就労状況は、1日就労したものは上欄に「1」と表示し、時間外勤務に従事させた場合は、その時間数を下欄に記入しておくこと。

